

1 回戦

	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	
青森県	金枝	神	佐藤	逢坂	相馬	逢坂	渡邊	3/2
			メ		メ	ド		
岐阜県	メメ	コド	メ	コツ			メ	8/4
	黒井	土屋	中西	坂本	野田	樹下	森井	

者とも1本負け、5将中西突きのみ1本勝ち。中堅坂本粘りの引き分け、3将野田面を先取しその1本を守り切り1本勝ち。この時点で勝者数、本数とも同点となり、勝敗の行方は副将、大将に委ねられました。副将樹下、普段どおりの心境、動きに見えましたが、相手の鋭い面に対応することができず面の2本負け。大将森井、2本勝ちで代表戦に持ち込むという厳しい状況で、果敢に攻めるも、相手にかわされ引き分けとなり、2対3で惜しくも敗退しました。福岡県は、その後勝ち進み、決勝戦では敗れたものの準優勝となりました。福岡県に善戦するなど、選手は自分の力を出し切った素晴らしい試合を展開しました。本大会で得た経験を今後の剣道人生に生かしていただきたいと思います。本大会の出場に際しまして、ご支援、ご協力をいただきました皆様には厚くお礼申し上げます。

2 回戦

	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	
福岡県	関	池田	西村	小森	牧島	林田	大淵	4/3
	メ	コ				メメ		
岐阜県			ツ		メ			2/2
	黒井	土屋	中西	坂本	野田	樹下	森井	

第15回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

監督 富多 ちはり

7月9日(日) 日本武道館において、第15回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会が開催されました。昨年から選手構成が5人制から7人制へと変更になりました。5将以降のポジションが年齢条件のみで区分され、職業別の縛りがないことが、男性とは違う女性の大会の特徴でもあります。そして今年も、試合時間が5分から4分になり、引き分けもあることから、試合の行方が予測できないところもありました。

- 今年の岐阜のメンバーです。
- 先鋒 若尾 樺子 (高山西高校)
  - 次鋒 樋口 恵淑 (鹿屋体育大学)
  - 5将 外山 菜緒 (岐阜県警)
  - 中堅 竹村奈緒美 (会社員)

3将 猪俣ひかり (刑務官)  
副将 中川 節絵 (教員)  
大将 荻田ひろ美 (教員)

高校生を除いて、各ポジションで予選会をして、このメンバーで挑みました。大会前日は、早稲田大学の道場をお借りして練習を行いました。1本の冴え、気持ちの充実など、大会に向けての選手たちの調子は万全でした。

大会当日です。コロナ感染症による観客動員数の制限も解かれ、会場内に活気が戻ってきました。岐阜県の初戦は京都府です。昨年の優勝チームです。しかし、そのことは考えず目の前の試合に集中するだけです。お互いが初戦ということもあり、先鋒から5将までは慎重な試合運びとなり、引き分けが続きました。中堅、3将では、優勝チームのプライドと負けられないという強気の試合に押され、両者とも1本負けとなりました。後がないところでしたが、副将も引き分けに終わり岐阜の敗退が決まりました。最後は大将が勝ちを収めて、試合を締めてくれましたが、大将まで繋ぐことが出来ず、悔しい初戦敗退となりました。その後京都府は次の埼玉県に負け、勢いそのまま埼玉が優勝をしました。各都道府県の実力は拮抗しています。波に乗れば、どのチームも上位進出のチャンスがあるのは、第1回から大会を見ている私自身が感じています。

選手たちは、大会まで時間を作り、本当によく稽古をしていました。「繋いで勝つ」「チーム力で勝つ」強い岐阜の復活を目指してきましたが、力を発揮することができず、悔しさでいっぱいでした。現実を受け止め、次の目標へと切り替えて、

今後とも地道に頑張っていきたいと思えます。遠いところから応援に駆けつけてくれた家族や仲間たち、岐阜の地で応援をしてくれたたくさんの方々、本当にありがとうございました。強い岐阜復活のために、また一緒に頑張っていきたいと思います。

第七十一回 全日本剣道選手権大会に出場して

江原 寛二



令和五年十一月三日、日本武道館において開催された第七十二回全日本剣道選手権大会に岐阜県の代表選手として出場させていただきました。

全日本剣道選手権は、私が小さい頃から父親と毎年テレビを通して観戦し、いつか出場したいと思った夢の舞台でした。それが今回、二十七歳で初出場をすることができ単純に嬉しく思います。

結果は、同じく初出場の広島県代表の粟田選手に負けました。

今回、このような機会をいただきましたので、私がこの大会を通じて感じたことを述べさせていただきます。

一つ目は、楽しむことです。

私は、試合や審査などその日に結果を出すために稽古に励みます。本番は緊張や様々な思いを持って挑むことになり、思うような動きが出来ないことがあるのですがそ